

2016年3月期第3四半期の連結ソルベンシー・マージン比率の公表について

2016年3月期第3四半期の当社連結ソルベンシー・マージン比率（保険持株会社およびその子会社等に係る保険金等の支払能力の充実の状況）を、下記のとおり算出しましたのでお知らせいたします。

記

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2015年3月31日)	当第3四半期 連結会計期間 (2015年12月31日)
(A)連結ソルベンシー・マージン総額	5,336,308	4,910,505
資本金等	1,135,707	674,461
価格変動準備金	82,945	87,172
危険準備金	48,380	47,516
異常危険準備金	1,010,824	1,083,611
一般貸倒引当金	2,867	1,897
その他有価証券の評価差額(税効果控除前)	2,360,278	2,183,184
土地の含み損益	177,023	190,168
未認識数理計算上の差異及び未認識過去勤務費用の合計額(税効果控除前)	△ 31,142	△ 26,132
保険料積立金等余剰部分	254,890	279,637
負債性資本調達手段等	—	—
保険料積立金等余剰部分及び負債性資本調達手段等のうち、 マージンに算入されない額	—	—
少額短期保険業者に係るマージン総額	82	121
控除項目	55,301	60,411
その他	349,751	449,276
(B)連結リスクの合計額 $\sqrt{(\sqrt{(R_1^2 + R_2^2)} + R_3 + R_4)^2 + (R_5 + R_6 + R_7)^2} + R_8 + R_9$	1,365,965	1,312,354
損害保険契約の一般保険リスク(R ₁)	275,627	316,944
生命保険契約の保険リスク(R ₂)	53,215	65,271
第三分野保険の保険リスク(R ₃)	4,562	4,460
少額短期保険業者の保険リスク(R ₄)	40	33
予定利率リスク(R ₅)	31,892	31,674
生命保険契約の最低保証リスク(R ₆)	3,335	2,948
資産運用リスク(R ₇)	938,638	838,081
経営管理リスク(R ₈)	32,519	32,145
損害保険契約の巨大災害リスク(R ₉)	318,644	347,870
(C)連結ソルベンシー・マージン比率 [(A)/(B)×1/2]×100	781.3%	748.3%

- (注) 1. 「連結ソルベンシー・マージン比率」とは、保険業法施行規則第210条の11の3および第210条の11の4ならびに平成23年金融庁告示第23号の規定に基づいて算出された比率です。当該比率は、行政当局が保険会社グループを監督する際に活用する客観的な判断指標のひとつですが、その数値が200%以上であれば「保険金等の支払能力の充実の状況が適当である」とされています。
2. 当第3四半期連結会計期間については、保険業法等の規定に準じて当社が妥当と考える方法で計算しており、一部、当中間連結会計期間の数字を使用するなどの簡便法を採用しています。

以上